

世羅町商工会 平成 29 年度経営発達支援事業報告書

【総括】

平成 28 年 4 月 22 日に経営発達支援計画の認定を受け、平成 28 年度と平成 29 年度において掲げた目標数値に到達するよう事業推進を行ってきました。本計画は個々の事業所が持続的発展をするために商工会として何をすべきなのかを改めて問われたものです。数値はあくまでも目標であり、事業所の売上増進、販路拡大に繋がる方策を事業所に寄り添って進めることが本来の目的であるはずで

す。しかしながら、指標としている項目 47 件のうち A 評価が 22 と一定の成果は出しているものの、計画策定時に想定した目標数値が何を集計すべきなのか手探り状態で進めてきた感は否めないと思われます。

広島県が商工会の事業評価をする際に各種指標の提出を求められますが、その中でも K P I（重要業績評価指標）として下記の 3 項目を掲げております。

【広島県の事業評価時における K P I（重要業績評価指標）】

指標項目	目標値	実績値	達成度
①事業計画策定事業所数	40 件	30 件	75.0%
②経営分析件数	60 件	124 件	206.7%
③巡回窓口相談回数	3,000 回	3,534 回	117.8%

事業計画の策定が最も重要であり、その計画を策定するための経営分析に必要な情報を得るための巡回窓口相談を重視し取り組んできました。

2016 年版小規模企業白書によれば、小規模事業者で経営計画を作成したことがある者は約 5 割で、作成したことがある者は、作成したことがない者に比べて売上の増加傾向が高いという調査結果も出ており、経営計画の作成は小規模事業者の持続的発展に不可欠であると思われます。

平成 29 年度においては最重要指標である計画策定事業所数が目標数値に到達していない状況ですが、経営分析セミナーや事業計画策定セミナーへの若手経営者の参加があり、経営計画作成に向けた種蒔きはできていると感じています。

また、平成 28 年度以降に経営計画を作成した 70 事業所のうち、数値実績が把握できた先 35 社のなかで、売上が増加した事業所が 23 社、粗利益が増加した先が 23 社ありました。

平成 29 年度より記帳機械化を行っている事業者の月次試算表が出来た際に、経営指導員等による考察コメントを付けることを始めたことで、経営計画作成に取り組んだり、税務上のメリットを享受できた事業者もおられます。

今後においては、最終的な出口と言える売上アップに繋がる支援策を講じていく必要があると思われます。

Ⅰ. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

(課 題)

今後は、行政や民間団体の各種調査データ及び当会の既存事業より把握される経済動向について、経営計画の策定や経営支援に活用するためのデータ分析を行う。また、分析された経済動向データを効果的に活用する手法と情報の共有体制を確立させることが課題である。

(1) 行政や民間団体の各調査データ及び当会の既存事業より把握される経済動向から、次にあげる項目について調査・分析した。

①世羅町統計データブック（世羅町発行の統計データ 毎年8月更新）

1) 総観光客数及び観光消費額の推移（まるせら 平成29年5月31日号掲載）

- ・総観光客数は2015年に続いて200万人越え（226万人）
- ・観光消費額は27億40百万円となり前年対比4億14百万円増
- ・一人当たりの観光消費額は1,210円に増加（前年対比186円増）

②小規模企業白書（中小企業庁）

1) 経営者の高齢化（まるせら 平成30年1月24日号）

- ・小規模企業者の47%超が60歳以上の高齢者
- ・60歳以上の経営者のうち50%超が10年以内に廃業予定

③融資データ（町預託融資・マル経融資）

1) 町預託融資 → 実行件数は40件減、金額も306百万円減
融資残高は40百万円増、運用率も6.14%増で264.64%
信保を付与しない融資が全体の約30%

2) マル経融資 → 高額な設備投資があり平均利用額は約10百万円にアップ
年末残高は280,699千円で前年対比23,555千円増

④既存事業データ

1) 記帳データ、確定申告データの調査分析（まるせら 平成30年3月23日号）

- ・259件を業種で分類し売上総利益率、人件費率、外注費率、FL比率、特前所得率を分析

2) 世羅とくたく商品券事業（平成29年総代会資料に掲載） ※下記（ ）内は平成29年分

- ・商品券事業によって来店客が増えたと回答した事業所 28%（29%）
- ・売上の増加につながったと回答した事業所 26%（23%）
- ・コミュニケーションツールとしての活用に役立ったと回答した事業所 83%（82%）
- ・ついで買いがあったと回答した事業所 32%（31%）

⑤世羅町の雇用動向（まるせら 平成29年11月6日号）

- ・平成29年9月現在の有効求人倍率は1.84倍であり、バブル期並みの高水準
- ・専門的技術的職業と農林漁業の求人が多い

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
世羅町統計データブックの調査・分析	1回	1回	100.0%	A
小規模企業白書の調査・分析	1回	1回	100.0%	A
町預託融資の調査・分析	2回	1回	50.0%	D
マル経融資の調査・分析	2回	1回	50.0%	D
記帳業務データの調査・分析	1回	1回	100.0%	A
確定申告業務データの調査・分析	1回	1回	100.0%	A
世羅とくたく商品券事業の調査・分析	1回	1回	100.0%	A
その他統計データの調査・分析	1回	1回	100.0%	A

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

(課題)

個々の経営指導員により経営分析のやり方にバラツキがあった。今後は、経営状況の分析を一致した手法で行い、事業者の経営実態を客観的に見つめ、問題点の洗い出しを行うため、事業計画策定の入り口となる経営分析を実施することが必要である。経営分析の中で、各事業者の「逸」となりうるものの洗い出しを行うことが必要である。

(事業内容)

(1) 窓口・巡回業務で受ける各種経営相談

- ・全職員で対応 窓口相談 2,069回、巡回相談 1,385回、創業窓口 70回、創業巡回 10回
- ・552事業所を巡回（全会員 610のうち定款会員を除く 593会員に対し 93.01%の浸透率）

(2) 経営分析セミナーの開催

- ・平成 29 年 10 月 13 日開催 参加者 8 名

(3) 専門家による個別相談会の開催

- ・伴走型補助金を活用した個別相談 10回、活用事業者延 16名

(4) 専門家派遣制度等の活用

- ・ミラサポ活用 7回、人材育成事業に係る専門家派遣制度活用 11回

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
窓口、巡回訪問件数	3,000件	3,534件	117.8%	A
経営分析セミナー開催数	1回	1回	100.0%	A
経営分析セミナー参加者数	15名	8名	53.3%	D
専門家による個別相談会開催数	6回	10回	166.7%	A
専門家による個別相談会・参加者数	15名	16名	106.7%	A
経営分析に係る専門家派遣回数	20回	18回	90.0%	B
経営分析件数	60件	124件	206.7%	A

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

(課題)

今後は、持続的経営の発展に必要不可欠となる事業計画の策定に取り組む小規模事業者の掘起しを行うと共に、自社の強み「逸」の創出・成長・発展を目指す事業計画の策定手法を確立させることが課題である。また、当会では新規創業者に対し、世羅町新規創業支援助成金制度（創業時に要する費用の一部について最大 50 万円（補助率 1/2）を上限として助成）の活用を支援しているが、この申請に係る事業計画は簡易なものである。新規創業者が事業を軌道に乗せ、継続的発展へと繋げるためにも、精度の高い創業事業計画の策定支援の整備が課題となっている。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
事業計画策定セミナー開催	1 回	1 回	100.0%	A
事業計画策定セミナー参加者数	15 名	9 名	60.0%	C
策定に係る個別支援回数	180 回	169 回	93.9%	B
事業計画策定事業所数	40 件	30 件	75.0%	C
うち新規創業	6 件	3 件	50.0%	D

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

(課題)

今後は、定期的・計画的なフォローアップ体制を確立し、経営課題の把握と適切な支援策を実施することが課題である。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
フォローアップ実施件数	58 社	67 社	115.5%	A
フォローアップ実施回数	196 回	186 回	94.9%	B
各種支援制度利用件数	36 件	22 件	61.1%	C
経営革新承認件数	3 件	0 件	0.0%	E
町預託融資実行件数	150 件	122 件	81.3%	B
マル経融資実行件数	12 件	12 件	100.0%	A

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

(課題)

今後は、連携団体及び民間の各種調査データ、当会の既存事業等から入手できる需要動向について、経営計画の策定や商品開発・販路開拓に活用するためのデータ分析を行い、分析された需要動向データを効果的に活用する手法と情報の共有体制を確立させることが課題である。

(事業内容)

連携団体及び民間の各調査データ、当会の既存事業より把握される需要動向について、次にあげる項目を収集・分析・提供を行うとともに、新商品・新サービスの開発に係る個別相談案件についても需要動向・市場調査を実施し、事業計画の策定及び販路開拓支援に繋げた。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
商品券事業の調査分析	1回	1回	100.0%	A
道の駅世羅の利用顧客データの調査分析	2回	1回	50.0%	D
新聞等の統計データの調査分析	2件	0件	0.0%	E
個別需要動向調査実施件数（事業者）	36件	30件	83.3%	B

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

（課題）

今後は、商品開発・既存商品のブラッシュアップなどの販路開拓に関する支援策のさらなる充実を図り、売上増加に繋げることが課題である。

（事業内容）

（1）売れるものづくり⇒「逸」品開発（特産品開発・メニュー開発）

- ・特産品開発 トマトコンポートのパッケージ等の支援

（2）売れる場所づくり・場所さがし⇒「逸」の販売チャネル創出

- ・高速道路SAでの地域物産展（年間5回、4事業者）
- ・道の駅世羅でのテストマーケティング他

（3）売れる人・仕組みづくり⇒「逸」の販売促進

（4）連携先支援機関等の実施する事業の活用⇒「逸」サービス・「逸」技術の販路拡大

（5）情報発信・プレスリリースに関すること⇒「逸」の情報発信

- ・エルフル掲載斡旋
- ・アクティブニュースへの記事掲載
- ・商工会情報誌まるせらへの記事掲載
- ・商工会ホームページ、フェイスブックへの情報アップ

（目標に対する実績、達成度及び評価）

	目標	実績	達成度	評価
特産品開発数	3件	1件	33.3%	E
商談会・展示会・物産展等への延べ参加事業者数	24社	6社	25.0%	E
商談実施回数	24回	13回	54.2%	D
販売促進セミナー	1回	1回	100.0%	A
HPによる情報発信回数	36回	22回	61.1%	C
広報誌・パブリシティー等への掲載回数	12回	21回	175.0%	A

II. 地域経済の活性化に資する取組

1. デマンド交通事業による活性化

(事業内容)

- (1) 行政（企画課、福祉課）、社会福祉協議会、運行事業者 3 社、商工会による運行会議を開催し、利用者ニーズに合った運行体制の再構築により利用者増加をめざした。
- (2) 利用者が増えることで、商業施設等における消費金額が増加することが推察され、地域商業の活性化につながる。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
利用者数	29,000 人	28,018 人	96.6%	B

2. 世羅とくたく商品券事業による活性化

(事業内容)

- (1) 世羅とくたく商品券事業の実施にあたり、世羅町と協議し事業の原案を確定、当会特別委員会を年間 2 回以上開催し、本事業の実施要領を検討し運営に当たった。
- (2) 全ての商品券取扱事業所において利用されるように、前年度よりスタンプラリーを実施。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
利用事業所	198 件	195 件	98.5%	B

3. 農商工観連携による活性化

(事業内容)

町内版のビジネスマッチングフェアとしての「農商工観連携セミナー（仮称）」を尾道市農業協同組合と世羅町観光協会との共催により開催する計画であったが、未実施となった。

しかしながら、広島県商工会連合会と備北商工会との共催による「ひろしま地域逸品発掘交流会」が開催イメージに近いことから、行政担当課（商工観光課）と視察同行できたことは収穫であると思われる。

また世羅高原 6 次産業推進協議会に平成 28 年度より参画していることから、当該事業実施に向けた良い協議の場になると考える。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
セミナー数	1 回	0 回	0%	—
連携数（累計）	0 件	0 件	0%	—

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
日本政策金融公庫との連携	2回	2回	100.0%	A
町内金融機関との連携	2回	2回	100.0%	A
尾道税務署との連絡協議会	1回	1回	100.0%	A
備南地区商工会の職員全体会議	1回	1回	100.0%	A
世羅町観光協会との連携	2回	1回	50.0%	D

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

(1) 広島県商工会連合会及び広島県商工会職員協議会主催の研修への参加

研修名	参加者	研修のねらい
管理職養成研修	事務局長	
相談能力向上研修	課長	
商工会専門スタッフ研修	経営指導員	指導能力の向上
経営革新支援研修	経営指導員	
職員基本能力研修	指導職員・一般職員	
職員パワーアップセミナー	全職員	職員のあるべき姿・資質向上

(2) 中小企業大学校主催の研修への参加

研修名	参加者	研修のねらい
新規事業・新規創業支援の進め方	主事 田辺有香	経営支援能力の向上
小規模企業に対する伴走型支援の進め方	主事 中元麻子	

(3) 首都圏大型展示会等への視察研修への参加

視察先	参加人員	視察研修のねらい
販路開拓支援「商談会」	2名	販路拡大・商品開発に関する資質向上
ひろしま地域逸品発掘交流会	1名	

(4) 支援ノウハウの共有体制強化

- ① 支援を行う際に、職種の異なる職員がチームを組み、スキルアップを図った
- ② 補助金申請及び事業実施に際し、指導員と指導職員が連携し事業推進を行った

(5) 業務終了後に職員全員を対象に、下記の内容等についての研修会を開催した。

- ① 平成 29 年度世羅町商工会経営支援メニューについて
- ② 小規模事業者持続化補助金の事例
- ③ 研修受講内容のフィードバック（東部産業支援会議）
- ④ 町版持続化補助金の事例

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

- (1) 広島県が実施する「商工会マネジメントシート」事業評価システムに沿い、事業評価を分析し検証を行う予定。
- (2) 世羅町、日本政策金融公庫、町内金融機関、中小企業診断士、一般社団法人世羅町観光協会、広島県商工会連合会、商工会により組織する事業評価委員会において、成果の評価を行い、評価結果を委員会において比較検討し見直しをするためのPDCAサイクルの仕組みを作り年間2回開催した。
- (3) 商工会理事会において、委員会での評価・見直しを報告して承認を受け方針を決定し、総代会へ報告する予定。
- (4) 毎年度の事業終了後に、中国経済産業局、広島県、世羅町へ報告する予定。
- (5) 事業の進捗状況・評価・見直しの結果を常時閲覧できるように商工会報「まるせら」及び商工会公式ホームページ (<http://marusera.com>) にて広報する予定。